



花名：寒牡丹
絵：中村宗和名誉教授

2月の特許相談会

※今月は鳥取・米子地区で各1回開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：滝本智之弁理士
(電気・機械関係他)
日時：2月10日(木) 13:30より
場所：鳥取大学産学・地域連携機構 2階会議室

【米子地区】

相談員：富田憲史弁理士
(医獣・バイオ関係他)
日時：2月14日(月) 13:30より
場所：鳥大医学部総合研究棟 4階セミナー室

今月は特に次の項目に該当される方をお待ちしています。

1) 出願予定の研究を卒論等で発表される場合

本学では『卒論等の発表前には必ず特許出願をして頂く方針』を採っています。
出願を希望する場合は、特許相談会をご利用ください。

2) 平成22年度中の特許出願を希望する場合

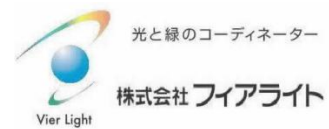
今年度中に特許出願する発明届出書の提出期限は、平成23年1月7日でした。
今年度中の出願が最近決定した場合は至急特許相談をお勧めします。

<お知らせ> 3月相談会予定 滝本弁理士 3/15(火)・富田弁理士 3/14(月)

【目次】

2月の特許相談会	1
企業紹介 シリーズ第11回 一株フィアライター	2
平成22年度技術移転に係わる目利き人材育成研修会	3
山陰発技術シーズ発表会 in 鳥根 2011	3
鳥取大学知的財産シーズ集 2011	4

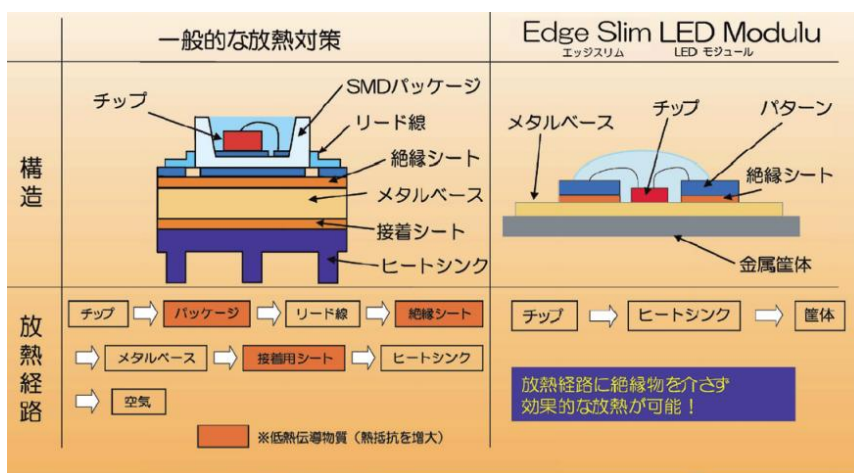
企業紹介 シリーズ第11回 — ㈱フィアライト —



田中 亮子

2010年2月の創業から早いもので1年が経過致しました。これまで私達は、環境に優しい高品質のLED照明器具を低コストでご提供すべく努力してまいりました。今やLEDという文字を見たり聞いたりしない日がない程、LEDは私達の生活に身近なものになりつつあります。省エネ・長寿命というLEDの特徴をご存知の方も多いと思われませんが、LEDは高価なものという見方が一般的で、一般家庭のみならず、企業や店舗などへの普及もあまり進んでおりません。私達は、県内外の関係企業様のご協力をいただきながら、高品質でかつ低価格のLED照明器具・灯具の開発に努めてまいりました。

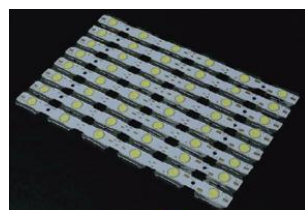
ここで、弊社が開発した光源の「エッジスリム LED モジュール」をご紹介します。



「エッジスリムモジュール」は、従来のものと異なり、左図のように、金属に直接LED素子を実装することにより、高い放熱性能と発光効率、長寿命を実現することが出来ました。弊社では、このエッジスリム光源を応用し、ベース照明、直管蛍光灯型照明、防犯・街路灯、植物工場用光源、看板照明等の様々な照明器具を



開発・販売致しております。エッジスリムはその特徴から、お客様の様々なニーズに合わ



せ容易に加工することが出来ます。照明器具会社として必要な品揃えを、住宅用、施設用、屋外用、演出用の分野を中心に拡充を続けてまいります。

今後は産官学連携の下、エッジスリムの特徴を生かし、より一層のエネルギー効率の向上、コストダウンを進めていく所存です。

《会社概要》

株式会社フィアライト

代表取締役 田中 章人

E-mail: tanaka.akito@vierlight.co.jp

住 所 鳥取県鳥取市若葉台南 7-5-1 ((財) 鳥取県産業振興機構内)

TEL 0857-50-0561 FAX 0857-50-0562

URL: <http://www.vierlight.co.jp>

平成22年度 技術移転に係わる目利き人材育成研修会

開催日時：平成23年 2月 4日（金）10:00～17:30
 研修会場：県民ふれあい会館 4F 中研修室（鳥取市扇町）
 主催：独立行政法人 科学技術振興機構（JST）
 運営：財団法人 全日本地域研究交流協会（JAREC）



鳥取大学 産学・地域連携推進機構 および 中国地域産学官連携コンソーシアムは、

- ①科学技術の成果を知的財産として戦略的に取得・活用できる人材の創出
- ②技術と経営の双方を理解し研究開発を効果的に市場価値に結実させる人材の創出

を願って、この研修会を開催します。今回は、先進事例に学ぶ、より効果的なプログラムの策定に注力されています。皆様の参加をお待ちしています。（問合せ先/当部門担当 加藤優）

【プログラム】

“未利用地域資源の有効利用”の ビジネスモデルを策定する	
「ビジネスモデルの考え方」	橋詰 徹（株）イノベーションマネジメントコンサルティング
「地域産学官共同研究拠点整備事業について」	齊藤 仁志 JSTイノベーション推進本部 産学官イノベーション創出拠点推進部 部長
「技術概要紹介：鳥取県における梨の利用概要と新規活用方策」	加藤 優 鳥取大学 産学・地域連携推進機構 中国地域産学官連携コンソーシアム産学官連携プロデューサー
「グループ実習： “二十世紀梨の有効活用”をテーマとしたビジネスモデルの策定」	橋詰 徹 藤川 昇 JSTイノベーション推進本部 産学連携アドバイザー
挨拶	菅原 一孔 鳥取大学 産学・地域連携推進機構 機構長・教授

山陰発技術シーズ発表会in島根2011

第3回目になる山陰地域の教育研究機関のシーズ発表会が開催されます。両県の産学官連携をさらに促進させるため、今年も鳥取大学から1件のシーズを発表します。

【開催日】平成23年 3月 4日（金）

【会場】くにびきメッセ 601大会場（松江市学園南1-2-1）

【主催】島根大学

【鳥取大学発表】

発表時間／15：55～16：15 分野／農業・バイオ分野

発表者／鳥取大学 農学部 生物資源環境学科 教授 河野 強

題名／遺伝子組換えトラップ植物を用いたネコブセンチュウ防除法の開発

概要／極めて重篤な農業被害をもたらすネコブセンチュウの新たな防除法の開発について紹介する。本研究では近年注目を浴びている RNA 干渉法を用いた。胚発生期の前後軸を制御する *pos-1* 遺伝子に対して RNA 干渉による機能抑制を行い、種特異的にネコブセンチュウの増殖を抑制（胚性致死）することに成功した。現在、RNA 干渉能を付与した遺伝子組換え植物（タバコ・トマト）を作出中であり、植物体内での RNA 干渉効果を検証する予定である。



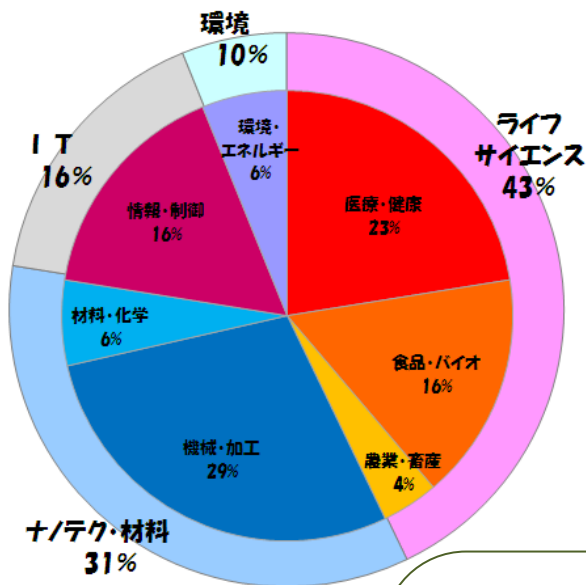
鳥取大学知的財産シーズ集2011

鳥取大学知的財産シーズ集 2011 がまもなく刊行します。本シーズ集は本学の教員が生み出した知的財産について、その内容を一人でも多くの方に知っていただけるように、ユーザーの立場に立って簡潔にまとめたものです。

大学における研究には基礎的な研究と応用的な研究があるといわれ、大学では基礎的な研究に力を入れるべきとの意見が根強くあるのも事実です。しかし、基礎的研究であろうと応用的研究であろうと、大学の研究により生み出された成果は社会に還元されるべきものであり、どのような形であろうと社会に貢献して始めてその成果が認められるものであると考えます。

本シーズ集では、鳥取大学での研究から生み出されたシーズをライフサイエンス分野、ナノテク・材料分野、IT分野、環境分野に大分類して取りまとめています。これらの各分野における“種”が共同研究や技術移転等の成果として“結実”することが機構の目指す「社会への還元」の一つの形であり、本学の研究者にとって大きな意義になると思います。

本シーズ集をご覧いただいた結果、事業化に役立つ案件がありましたら本学にご連絡いただき、双方で産学連携による新しいイノベーションを創出し、社会に貢献できれば幸いです。



本書49シーズの技術分野別円グラフ

* 本書49シーズとは…
本学単独出願のうち、
2002年1月～2010年9月
に特許出願し、技術移転を希望している
案件です。

*** 今月の表紙絵 ***

寒牡丹の花言葉は「壮麗・高貴」であります。藁の菰をかぶせ暖かく保護する姿は、知財部門のインキュベーターを彷彿させます

注) インキュベーターとは卵を雛にかえすふらん器のことですが、転じて「起業」に使われます。知財は企業支援の役割を担っています。(中村宗和名誉教授より)

*** 編集後記 ***

雪害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。未だ凍る車道も歩道も危険がいっぱいです。また雪かき疲れが限界にきている方もちらほら…皆様、体調管理に気をつけましょう。

*** 特許相談 ***

相談員：佐々木茂雄(部門長・教授) TEL: 0857-31-6000(直通) (又は内線 2765)

山岸 大輔(副部門長・助教) TEL: 0857-31-6094(直通) (又は内線 4072)

場所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門

知的財産管理運用部門 E-mail : chizai@adm.tottori-u.ac.jp

FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線 2771) 機構 HP : URL/http://www.cird.tottori-u.ac.jp/

*** 刊行物 ***
知財部門ニュース 2月号
<47号> (通番 76号、
2011年2月1日発行)
編集・著作：
知的財産管理運用部門
発行：鳥取大学
産学・地域連携推進機構